



平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町 13-21 田町ビル 3 F
Tel 093-592-5000 FAX 093-571-4346

北九州市民の会

検索



WEB : <http://siminnokai.com>
e-mail : koe@siminnokai.com



若松革新懇 学習バスツアー

築城基地の現状を学び、 平和な日本について考える

徳永克子行橋市議が報告し交流

若松革新懇で4月8日「築城基地の現状を学び、平和な日本について考えるバスツアー」に取り組みました。

行橋市議徳永克子さんに築城基地の現状についてお話していただくようお願いしていましたので、メタセの杜で合流しました。築城基地に近いこの土地は事故の危険性があるので民家を建ててはいけないことになっていて「道の駅」をつくったと聞いてまずはびっくり。

築城基地は1942年に大日本帝国海軍航空隊築城飛行場として建設されましたが1945年には米軍に撤収され1954年に航空自衛隊築城基地となり、米軍岩国基地の第1番目の代替基地となったこと、始めは「普天間基地の負担軽減のため」と言いながら2006年に日米両政府が合意した「日米ロードマップ」で「普天間基地の代替施設として辺野古新基地を建設する。これに関連し、普天間飛行場の返還の前に、緊急時使用のため築城基地と新田原基地を整備する」ことになったとのことです。

さらに2018年には政府が築城基地に米軍のための施設建設・整備を行うと発表しました。2023年3月には庁舎が2棟になり弾薬庫、燃料タンク、駐機場、宿舎などが整備されました。滑走路は2400mから2700mに延長強化され2024年度に着手、約7年間で完成予定、総工費は343億円です。予算は24年度だけでも分散パッド、隠蔽用施設、強靱化など118億円です。

2025年3月24日、陸海空3自衛隊の実働部隊を平時から有事まで一元的に指揮する「統合作戦司令部」が発足しました。米側の要求に応じて創設され、事実上、自衛隊を全面的に米軍指揮下に組み込む「日米統合司令部」に向けた動きです。

統合作戦司令部発足の5日前の3月18日「陸自オスプレイの飛来」が基地より行橋市に連絡が入り、3月26日には大村航空基地から築城基地、芦屋基地へと飛来しました。これらの説明を受けて弾薬庫、滑走路などが見えるところを徳永市議とともにまわり、実際に見ながらさらに詳しくお話を聞くことができました。

「日本では戦後80年たった今でも、憲法より、安保条約より、日米地位協定が優先していることに『情けない』とため息がでた」「整備がずいぶん進んでいる」「みんなの暮らしが大変な時にそんなに多くの税金を軍事費に使うなんてとんでもない、平和のための話し合いをもっと進めるべき」「基地を強靱化しても国民の命は守れない」など感想がだされました。

ちょうどこの日は地元の幼稚園の入学式が行われているとのこと、基地の周りでお話を聞いている間は、訓練飛行はなく、とても静かでした。その後戦争遺跡を見てメタセの杜に着いたとたん戦闘機が訓練を開始し、もの凄い爆音が響きました。4機5機と編隊を組んだ戦闘機も飛び、耳をふさがずにはおれないくらいの騒音でした。民家は防音対策がしてあるそうですが、危険と隣り合わせ、だんだん住む人が少なくなっているそうです。

現地を見ながらの詳しいお話に、「アメリカの要請に応じて軍事費だけは増え続け、国民はますます苦しめられる。こんな自民党政権を参院選で退陣に追い込まねば平和も暮らしも守れない」と強く思いました。

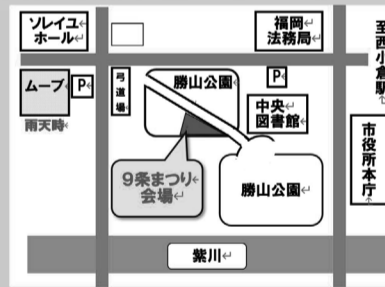
しっかり学んだあとは、メタセの杜でおいしいお弁当を食べ、福智山ろく花公園へと足を伸ばしました。珍しいチューリップ、さくら、しゃくなげ、見たことがない珍しい花々をみてホッと、「平和であればこそ楽しく花を見ることができ、憲法9条を守ろう」と思いを一つにしたバスツアーとなりました。

(若松革新懇事務局 三輪幸子)

戦後80年 平和への決意を新たに！ 第9回 北九州9条まつり

5月3日(土)
10:15~12:15

勝山公園 中央図書館裏
(雨天時：ムーブ 10階
大手町練習場 大練習室)



～ プログラム ～

- 10:15~ コーラス
- 10:25~ 開会あいさつ
- 10:35~ 9条の碑について
- 10:40~ 被爆二世の方のお話
- 10:55~ 市内九条の会の意見交流
- 11:10~ 平和コント(キリスト者九条の会)
- 11:20~ 市内九条の会意見交流
- 11:35~ サムルノリ by ビビムタ
- 12:05~ 憲法前文・九条 唱和
- 12:13~ 閉会あいさつ

展示 : パレスチナ、原爆の絵
売店 : パン、ジュース、本、化粧品、雑貨

サムルノリ：2023年にも来演し、大人気でした。韓国の民族打楽器演奏～鉦や太鼓、ドラなどを賑やかに、激しく打ち鳴らしながら演奏します。(by 韓国民族打楽器演奏グループ ビビムタ！)



日本被団協 二世委員会委員の中村典子(みちこ)さんは、被爆二世として、オスロでの授賞式行動ツアーに参加。原爆や平和への思いについて、話していただきます。
オスロ市民と共にトーチパレード

「ガザ地区で子どもが血をいっぱい出して抱かれている。80年前の日本と同じ」ノーベル平和賞受賞直後の賀牧理事長の言葉です。「パレスチナの歴史とガザの現状」と「高校生の書いた原爆の図」の展示を行います。

5月3日 憲法記念日をゆったりと過ごそう
9:10~10:00 9条の碑除幕式@大手町病院前 9条広場
10:15~12:15 北九州9条まつり@勝山公園
13:30~16:00 憲法集会@ムーブ2階ホール
内田聖子講演会(参加費1000円)

日本被団協と憲法9条は世界の宝！



主催：北九州9条まつり実行委員会 実行委員長 荒牧啓一
問合せ先：事務局長 富士本和博 090-8853-0862

市民センター営利利用問題

「営利団体の市民センター利用4月実施」凍結を！

3月24日、北九州市議会総務財政委員会において、2月19日に提出していた「市民センター条例の一部改正の4月実施凍結を求める」署名143団体の陳情審査が行われ、傍聴には15名参加しました。委員会の冒頭、市民の会事務局長の三輪俊和さんが口頭陳述を行いました。

その主なものは、

- ① 北九州市が住民参加型の社会教育活動をすすめてきた発祥の歴史をもったまちであること。
- ② 3月1日「市政だより」掲載は、どんなルールの改正が行われたのか理解できない。「議会の付帯決議」を守り、丁寧に市民へ知らせているとは言えない。
- ③ 改正理由に「市民センターを利用するNPO法人等から有料のイベントや講座などを行いたい」「若者や子育て現役世代など多世代の利用促進」としているが、まずは、NPO法人を対象にした、利用のあり方の検討からはじめ、株式会社などの営利団体への規制緩和は慎重に行うべきと指摘しました。

また、若者や子育て世代の利用を広げるには、土・日の開館が必要であり関係者の意見や要望をもっと聞いて進めることを求めました。「営利を目的とした団体」への利用緩和は拙速であり、市民センター条例一部改正の凍結・撤回も求めて陳述を行いました。

総務市民課長は陳情に対して、昨年12月議会での指摘も踏まえて、①各区の市民センター館長と区職員の勉強会を開催しマニュアルを作成

した。②1月、全市民センターの館長及びまちづくり協議会の職員説明会を2回開催し、延べ326名に行なった。③2月は、区ごとに館長、職員向けの説明会を開催して150名の参加でマニュアル作成や説明等を行ってきた。

また、①届け出の審査を区役所で行う。②申し込みの受け付けを一般は2ヶ月、営利団体は1ヶ月として住民の利用を優先させた。③営利団体の利用料を5倍とする。として4月実施ですすめると答弁しました。

議員からの発言では、永井議員は市民からの陳情内容を支持して、市民センター館長やまちづくり協議会の声を紹介し、関係者の合意が得られていないと指摘して質疑が行われました。自民党2人議員、公明党、市民とともに会派の議員が発言し、市が対策を取っている内容をそれぞれが聞き直して、多目的に利用が広がり町内会の加入が増えることを期待する発言などが展開されました。

陳情に対する議員による賛否の採決が行われ、市民の会の「陳情の4月実施凍結を求める」ことに賛成は永井議員だけで、賛成少数で否決されました。

この結果を受けて4月実施ですすめられますが、市民センターの利用をもっと良くするために引き続き要求を出し合って運動を進めていきます。今後ともご意見・要望をお寄せください。

(小林節馬)

北九州憲法共同センターが第11回総会

高田健氏が記念講演

軍拡ではなく安心供与 信じられる未来へ、 希望の対立軸



講演する高田健さん

3月29日（土）午後、ムーブ大セミナー室で、上記総会と記念講演が開催されました。

《第11回総会》14:00～14:30

前田憲徳代表が、総会議案を一括報告、承認されました。議案は、第1に、2024年度の活動と総括。第2に、2025年度の活動方針。第3に、財政議案。第4に、役員体制案でした。

《記念講演》14:30～16:00

高田健氏「軍拡ではなく安心供与。信じられる未来へ、希望の対立軸」でした。

記念講演の内容は、次の7節で構成されていました。

- 第1節、 石破政権で日本の政治が、トランプ政権で世界の政治が、「迷走する時代」に
- 第2節、 「日米関係の新たな黄金時代」（日米共同声明 25年2月）
- 第3節、 「法の支配と国際協調」の破壊（日米共同声明）
- 第4節、 トランプ大統領、日米安保条約を「片務的」と不満
- 第5節、 石破首相の「手のひら返し（動揺）」と日本国憲法の理想
- 第6節、 「今日より明日はよくなる」と実感できる「楽しい日本」
- 第7節、 市民運動と参院選（都議会議員選挙も含む）